

2014年度受託研究概要報告

神戸国際フロンティアメディカルセンター (KIFMEC) の メディカルユニフォームの研究と播州織を用いた試作

研究メンバー

野口正孝 デザイン学部ファッションデザイン学科教授

委託者

公益社団法人 北播磨地場産業開発機構

研究概要

2014年度開業予定の神戸国際フロンティアメディカルセンターの医師、看護師等のメディカルユニフォームを研究し、兵庫県を代表する地場産業である播州織を用いて、安全かつ機能的なユニフォームの試作を行う。

研究成果

開設されるKIFMECの医師、ならびに事務職員にヒアリングを行い、デザインの基本となる考え、兵庫県の地場産業である「播州織」を用いるという要望を聞いた上で、コンセプト、デザインワークを行った。

ファッションデザイン学科3年生2名4年生10名でプロジェクトを立ち上げ、テキスタイルデザイン案からユニフォームのデザイン案を作り、ファーストプレゼンを病院の担当者に行った。病院側からの意見を集約し、テキスタイルの織布の規格の決定、テキスタイルデザイ

ン、ユニフォームデザインの修正を行い、最終プレゼンに向けた試作を行った。

使用するテキスタイルは、アイテム別に5柄、各3～4配色で縞割を作成し、播州織工業組合のインクジェットプリンターでサンプル用生地を制作した。

看護師のメディカルユニフォームとしてメンズ、レディース別にスクラブタイプ、シャツタイプ、ケーシータタイプの3タイプをデザインした。ドクタージャケットは、テーラードタイプ、ドクターコートタイプ、ジャケットタイプ、シャツタイプの4タイプをデザインした。また事務職員の受付用にワンピースタイプ、ベスト&キュロットタイプ、ジャケット+スカートタイプの3タイプをデザインした。それぞれ、設計（パターンメイキング）、タオルメイキングを行い、工業パターン、縫製仕様書までを作成し、縫製工場にサンプル縫製のための職出しを行った。

2013年12月9日、国際医療開発センター (IMDA) 会場で、国際フロンティアメディカルセンターの理事長、医師、看護師、事務職員に対して試作したユニフォームの最終プレゼンテーションを行った。

画像：提案書用デザイン画、最終プレゼンテーション風景

ドクタージャケット



メディカルユニフォーム



ケーシータ



受付



最終プレゼンテーション風景

